

大井浩明ピアノノリサイタル

エチュードを回^{めぐ}って

第2回

2020年9月19日(土) / 20日(日)

15時開演(14時45分開場)

F. リスト(1811-1886): 24のエチュード集

バガニーニによる大練習曲 S.141 (1838/51)

I. - II. - III. 「ラ・カンパネラ」 - IV. - V. 「狩り」 - VI. 「主題と変奏」

アブ・イーラートー(怒りに駆られて) S.143 (1840/52)

3つの演奏会用練習曲 S.144 (1845/48)

I. 悲しみ - II. 軽やかさ - III. ため息

2つの演奏会用練習曲 S.145 (1862/63)

I. 森の騒めき - II. ノーム(小人)の踊り

12の超絶技巧練習曲(決定稿) S.139 (1851)

I. 「前奏曲」 - II. - III. 「風景」 - IV. 「マゼッパ」

- V. 「鬼火」 - VI. 「幻影」 - VII. 「英雄」 - VIII. 「荒ぶる狩り」

- IX. 「回想」 - X. - XI. 「夕暮の諧調」 - XII. 「雪嵐」

[使用エディション: 新リスト全集版]

Recital Fortepianowy Hiroaki OOI

- O Etiudach

第1回

2020年9月12日(土) / 13日(日)

15時開演(14時45分開場)

F.F. ショパン(1810-1849)

12の練習曲 Op.10 (1829/32)

12の練習曲 Op.25 (1832/36)

3つの新しい練習曲 B.130 (1839)

ピアノソナタ第2番 Op.35 《葬送》(1837/39)

ピアノソナタ第3番 Op.58 (1844)

[使用エディション: ポーランドナショナル版]



松山庵

(芦屋市西山町2011)

阪急神戸線「芦屋川」駅徒歩3分

4000円(全自由席)

お問い合わせ tototarari@aol.com (要予約)

後援 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 (PTNA)

えでうどは かなしきかな
 いとをはじく ゆびのちからの
 ひといろにあらず ならないろの
 ひかりのいろを つむぎだす
 わざは どこまで きわめれば
 わざのわかれは てふてふの
 はばたきのごと うたになる
 ひととの わかれは せつなくも
 こがらしのふく くろい いと
 ひとのよをかえる ちからとは
 うみにひろがる みなものしずけさ
 くろも しろも
 くろだけさえも うたいだす
 にじがかかれば やまいはとおのき
 しょばんも りすとも あるかんと

(山村雅治)



大井浩明 Hiroaki OOI

京都市出身。スイス連邦政府給費留学生ならびに文化庁派遣芸術家在外研修員としてベルン芸術大学（スイス）に留学、ブルーノ・カニーノにピアノと室内楽を師事。同芸大大学院ピアノ科ソリストディプロマ課程修了。また、チェンパロと通奏低音をディルク・ベルナーに師事、同大学院古楽部門コンツェルトディプロマ課程も修了した。アンドラーシュ・シフ、ラーザリ・ベルマン、ロバート・レヴィン（以上ピアノ）、ルイジ・フェルディナンド・タリアヴィーニ（バロック・オルガン）、マイクロシュ・シュパーニ（クラヴィコード）等の講習会を受講。

第30回ガウデアムス国際現代音楽演奏コンクール（1996／ロッテルダム）、第1回メシアン国際ピアノコンクール（2000／パリ）に入賞。第3回朝日現代音楽賞（1993）、第11回アリオソ賞奨励賞（1994）、第4回青山音楽賞（1995）、第9回村松賞（1996）、第11回出光音楽賞（2001）、第61回文化庁芸術祭新人賞（2006）、第15回日本文化芸術奨励賞（2007）、第1回一柳慧コンテンポラリー賞（2015）等を受賞。

これまでに NHK 交響楽団、新日本フィル、東京都交響楽団、東京シティ・フィル、仙台フィル、京都市交響楽団等のほか、ヨーロッパではバイエルン放送交響楽団、アンサンブル・アンテルコンタンポラン（パリ）、ASKO アンサンブル（アムステルダム）、ドイツ・カンマーオーケストラ（ベルリン）、シュトゥットガルト室内管、ベルン交響楽団等と共演。「ヴェネツィア・ビエンナーレ」「アヴィニョン・フェスティバル」「MUSICA VIVA」「ハノーファー・ビエンナーレ」「パンミュージック・フェスティバル（韓国・ソウル）」「November Music Festival（ベルギー・オランダ）」等の音楽祭に出演。仏 TIMPANI レーベルでの『クセナキス管弦楽全集』シリーズには2002年から参加、アルトゥーロ・タマヨ指揮ルクセンブルク・フィルと共演したCD《シナファイ》はベストセラーとなり、ル・モンド・ドゥ・ラ・ミュージック“CHOC”グランプリを受賞した。2004年秋には第2協奏曲《エリフゾン》世界初録音が同レーベルからリリースされた。2010年からは、東京で作曲家個展シリーズ「Portraits of Composers (POC)」を開始、現在までに46公演（約500曲）を数える。

近年の主な活動として、中全音律バロックオルガンによるフレスコバルディ《音楽の花束（3つのオルガン・ミサ）》（全曲による日本初演）（15年3月）、ヒストリカル・チェンパロによるフランソワ・クーブラン連続演奏会（全27オールドワル / 220曲）（12年6月～18年9月 / 全8回）、2段鍵盤ペダルクラヴィコードによるバッハ：トリオソナタ集 BWV525-530（全6曲）（16年10月）、シリーズ《ピアノで弾くバッハ Bach, ripieno di Pianoforte》（12年4月～15年1月 / 全8回）、様式別 / 時代順のフォルテピアノによるベートーヴェン：クラヴィアソナタ全32曲演奏会（13年9月～14年3月 / 全8回）、ピアノ独奏 / 重奏によるマーラー：交響曲集（全11曲）（12年8月～15年11月）、カイホスルー・ソラブジ《オプス・クラウイケンバリスティックム》日本初演（17年7月）、ジョン・ケージ《南のエチュード集（全32曲）》通奏日本初演（13年1月）、モートン・フェルドマン全ピアノ作品（17年12月～18年4月 / 全2回）、一柳慧：笙独奏のための《時の佇い I》全4楽章通奏（16年8月）、トリスタン・ミュライユ全オンドマルトノ作品演奏（2014年9月）等と併せて、米沢典剛（編曲）とのコラボレーションによるバルトーク《弦楽四重奏集（全6曲）》ピアノ独奏版）他や、浦壁信二との2台ピアノによるショスタコーヴィチ / R. シュトラウス / ストラヴィンスキーらの管弦楽作品演奏等。また、（一社）全日本ピアノ指導者協会の YouTube アカウントで、未出版・未録音の日本人作品を中心に演奏動画を公開している（現在までに約200曲）。公式ブログ：<http://ooipiano.exblog.jp/>

【予告】〈第3回公演〉2021年1月10日（日）15時開演（14時45分開場）

C.V. アルカン（1813-1888）：《短調による12の練習曲 Op.39》（1857）

I. 風のように II. モロッソス格で III. 悪魔的スケルツォ IV. ～VII. ピアノ独奏による交響曲（全4楽章）
VIII. ～X. ピアノ独奏による協奏曲（全3楽章） XI. 序曲 XII. アイソーボスの饗宴